



みずほの丘の希望

令和6年12月24日
第13号
生徒数/404名
文責/堀川博基

〒354-0018 富士見市西みずほ台3-14-6 TEL/049-252-4145 FAX/049-255-0233

2024.12.5・6・7

好天に真っ赤な紅葉…こんな京都を見られるなんて…本当にラッキーです!

穏やかな青空が広がった3日間… 古都も、君たちも、 燃えるような紅葉に染まった…

平安神宮学年写真

清水寺の舞台から京の都を望む

令和6年度修学旅行…

伏見稲荷千本鳥居

「涙が出るほど感動した…」

東大寺大仏殿鼻の穴

これ以上に表現できる言葉はあるの

赤ジャ133名の諸君…君たちは持っている! 旅を盛り上げる穏やかな3日間の好天、たった一度の「通り雨」も、神様(?)が「虹の橋を架ける」という最高の演出を見せてくれた。例年霜月中～下旬が紅葉のピークである奈良・京都、今年はそのピークが12月5日頃から君たちの到着に合わせているようだった。私も50回以上足を運んでいるが、紅葉のピークに奈良・京都へ足を踏み入れたのは初めてだった…。話題のオーバーツーリズムも、リアルに実感することができた。これも赤ジャの君たちが「持っている証!」だと思っている。

「修学旅行の意義…」を再考できた赤ジャの修学旅行だった。■修学旅行の主体は生徒/生徒が中心となり様々な場面で力を尽くしてくれた。特に実行員会を中心とした係活動は本当に見事なものだった。「今、何をすべきなのか」自分たちで考え抜き実行していった。できないこともあったが、自分たちで試行しつつ最適な「解」を模索していた。宿舎でも、班活動でも、朝でも、夜でも…意識していた。ある意味、先生方を超えた主体性を発揮してくれたかもしれない。みんなよく考え抜いて(Thinking)くれた…。■成長を確かめる修学旅行/3日間寝食を共にすると生徒の期待したよが見えてくる。正直「3日間大丈夫かな?」と思った生徒もいたが…。みんなよい意味で期待を裏切ってくれた。自分の係をやり遂げる責任感、体調不良の仲間への気遣い、ルールを守ろうとする思い、相手を考え我慢する気持ち…。あの赤ジャの生徒が…と感心させられる場面がたくさんあった。考え抜いて実践(Action)につなげてくれた結果だ。■つながりの修学旅行/「楽しかった…」という答えが返ってこない。修学旅行後の感想だ。鹿との戦い?だって、京都の紅葉だって、鹿せんべいに千円以上費やしたのだって、金閣寺の前でのピースだって、タクシー運転さんと交流だって、電車で遅れたのだって、夕食のすき焼きだって、清水坂の大混雑だって、「知&雄」の漫才だって、レクのシュールなギャグだって…3日間のすべてが楽しかった。なぜ楽しかったかわかるか。それは赤ジャ133名、西中の先生方、みんなの家族、添乗員さんに写真屋さん等、赤ジャ修学旅行にかかわったすべての人の思いが協働して化学反応を起こしたからだ。まさしく赤ジャを愛する人たちのTeam Workだと思う。

さあ…「学びを修める」修学旅行が終わった…。赤ジャ133名は次に何を求めるのか?自分の将来だけを見据えて受験勉強に走るのか?修学したから、中学生生活はひと段落か?修学旅行の思い出に浸るだけか?主体性、責任感、気遣い、自律、忍耐力、協働、協力…この修学旅行での成長により君たちの財産となったものをこのまま眠らせるのか?…修学旅行の過程を経て、真の学校の顔となった赤ジャのリーダーシップに期待したい。来年から、いや今この瞬間から、この西中を背負ってくれ!

保護者の皆様には、修学旅行実施において様々なご協力をいただき心から感謝申し上げます。また、生徒の体調管理にも格段のご配慮をいただき重ねて御礼申し上げます。さて、令和6年度の修学旅行については、大きな体調不良者もなく無事に実施することができました。今後とも学校の教育活動全体とのバランスを図りつつ、安全と活動の活性化を視野に入れた実施を進めて参ります。学校行事につきましては、予算の高騰、内容の教育的効果、健康管理等課題が山積しております。今後、西中全体のバランスを考えつつ、生徒の成長に確実に機能する行事等を検討して参ります。今後とも、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。初日1番は猪熊君、小峯君でした。4:20頃かな?

宿舎の御殿荘は聖護院門跡の中にあります。門跡とは皇室とのかかわりがある格の高い寺社を指します。

初日、みずほ台駅には先生方が見送りに来てくれました。朝早くからの「いってらっしゃい」…心に沁みました。

今回の修学旅行…「晴天」「紅葉」「オーバーツーリズム」「鹿」「生徒の主体性」に象徴される修学旅行でした。多分…私にとっても、こんな好天で、紅葉のピークに奈良・京都を訪れる修学旅行は最初で、最後(?)なのかな…と感じています。今回の景色や出来事を脳裏に刻み込み、明日からのエネルギーとなる修学旅行になればと願っています。お疲れ様でした。兵共が夢の跡 知&雄



命が一番大切です。安全・安心な冬休みを

北九州市でやりきれない事案が発生した。塾帰りマックに寄っただけの中学生が襲われ命を落としてしまうという事件だ…。無念、憤り、怒り、憤慨、悲しみ…私が感じるどんな言葉を当てはめても、被害に遭った中学生の…関係の皆様…慰めにもならない…。唯々、ひたすらお悔やみとお見舞いを申し上げたい。本件について多くの生徒と話をした。生徒たちの声は、被害に遭った同じ中学生への悲しみと事件への怒り…そして、「塾帰りのマック…よく行くよね」「塾帰りに10:00過ぎるよ…」「塾終わった後、友だちとサイゼ行つた」「遅い時間、一人になることあるよ」等の西中生も変わらない日常だったこと、つまり西中生も常に危険と表裏にあるという事実だ。とにかく安全について意識してほしい。「学校だより12月号」でも書いた。「学校朝会」でも話をした。…しかし、時々落ち着かなくなる君たちを見ていると、そんな危険と遭遇するような兆候を感じてしまう…今一度繰り返す。

冬休み(いや毎日)注意事項 / ①交通事故 ②SNSトラブル ③対人関係トラブル(いじめ、ふざけ、からかい) ④夜間外出

①交通事故/油断大敵!ヘルメットは絶対着用、スマホ自転車もアウトだ。加害者にならないようにも気をつける。②SNSトラブル/犯罪の入口となると言っても過言ではない。誹謗中傷、闇バイト、性犯罪等あらゆる犯罪のきっかけになる可能性有り、適正な使用を!③対人関係トラブル/いじめ、暴力行為、けんか等に発展。最近の傾向として、過去のいじめやトラブルが数年後に罰せられることが多い。今のトラブルが数年後に罪となる…もう「悪ふざけ」は「おふざけ」や「冗談」では済まされない。④夜間外出/もはや安全は保障できない。夜間の中学生の外出は、ある意味、犯罪の格好の標的となってしまう可能性も…。様々なイベントで気も大きくなる冬休み…。自分の生き方だけは自分で守る生活をお願いしたい。

令和6年度(7年)2月行事予定

日	曜	活動内容
1	土	
2	日	
3	月	安全点検日
4	火	表彰会 新入生中学校体験 新入生保護者会 部X
5	水	2年CBT事前体験
6	木	1年スキー宿泊学習事前指導④
7	金	スキー宿泊学習
8	土	
9	日	
10	月	1年振替休業 3年テスト前諸活動停止(～18日)
11	火	建国記念日
12	水	中央委員会 部X
13	木	1年CBT事前体験
14	金	4時間授業(給食後下校) 防パト 部X
15	土	
16	日	
17	月	3年学年末試験
18	火	√ 県公立志願先変更(～19日) 第3回学校運営支援者協議会
19	水	生徒朝会 西中学区青少年健全育成会議
20	木	1・2年テスト前諸活動停止期間(～28日) 部X
21	金	
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	登校指導 3年公立入試事前指導⑥
26	水	登校指導 3年県公立学力検査
27	木	1・2年学年末試験 3年県公立実技面接 下校指導
28	金	√ 防パト

- 1年生いよいよスキー宿泊学習です。体調管理を万全に!
- CBTは、来年度の県学テの実施リハーサルになります。
- 3年公立受験です。しっかり決めてこい!期待している!

ご心配をおかけして、申し訳ございませんでした…12/18・19 臨時休業

365日、常に感染症が発症している現在、生徒の安全を第一優先に考えつつも、適正な教育課程の実施、行事等の運営、学校生活の充実等を鑑みつつ、運営を進めて行かなくてはならない厳しい状況が続いている。今年度も5月、10月、そしてこの12月と感染流行と対峙しながら学校を進めた。特に今年度はコロナ、インフル、そしてマイコプラズマ、リンゴ病と感染症が多発し、連続して罹患者がいる状況であった。完璧な感染対策を求めれば、年間を通してのマスク着用等を促さなくてはならないという、学校の実態と乖離したダブルスタンダードを生み出す状況でもあった(マスクについてはあくまでも個人、家庭等の意向でという通知が発出されている)。…そんな、状況下で流行拡大は一挙に学校を飲み込む。

13日(金)朝、マイリ一での新規出停報告は1件であった。もちろん前日までの出停や当日の体調不良も数名いたが、平均的な欠席状況であった。ただし、市内での流行もあり、警戒をしていなかったわけではないが…。16日(月)の欠席連絡は60件以上(含不登校)に膨れ上がり、出停報告も20件となった。この時点では3年に偏った傾向があったので、臨時朝会にて3日間の3学年閉鎖を告げた。反応はまちまちであったが、このタイミングで対応を図らなければ、20日/給食最終日、24日/終業式に出席できなくなると判断した結果でもある。17日(火)、1・2年を心配しつつも、朝からマイリ一が累積される。閉鎖目安ギリギリの状況であった。これ以上はと思いつつ注視していたが…早退者が後を絶たない。結局2時間目までに、2学級を閉鎖しないといけない状況となってしまった。前日の3年を含めて、6学級の閉鎖、90名を超える欠席・早退、28名の出停…。職員にも数名の体調不良者を数え、適正な学校が維持できる状態ではなかった。生徒の安全を第一に学校閉鎖の措置をとった。

閉鎖については明確な基準があるわけではない。学校保健安全法第20条で、「学校の設置者は、感染症の予防上必要があるときは、臨時に学校の全部又は一部の休業を行うことができる」とあるだけだ。ただし目安として、「20%の罹患や欠席」というのが我々の認識としてある。医療関係者に聞くと「緩すぎる目安」とお叱りを受けるが…。単純に35人学級であれば7人以上の欠席、もちろん内容を精査し、うち出停が3名以上あることが、全般的な目安のように思われる(地域の状況や実態により大きく変わる)。…結局のところ16～20日の1週間において出停は53件を数えてしまった。

他にも出席者の健康状態、学校の教育課程の状況(授業の履修状況、学期末の2学期評価の進行状況(全生徒の評価が出されていた)、部活動との兼ね合い(原則部活動停止)、閉鎖解除の復帰対応(20日解除/学期末に向けての生徒の健康確認、給食最終日、終業式の適正な実施等)、医療機関への状況報告と相談(様々なタイミングで医療機関と連携を図っている)等、これらすべてを踏まえ校長の意向を伝えつつ、学校設置者の富士見市へ情報提供し臨時休業(閉鎖)という判断を受けた。

どのような展開があったとしても、臨時休業(学校閉鎖)という措置をし、生徒の学校生活を削ってしまったことや保護者や地域の皆様にご心配をおかけしたのは事実です。改めてお詫び申し上げます。今回の事案を教訓に、更に機能する策を考え続けなければならないことを実感しました。■個人情報等に配慮しながらも、全体に周知する情報(学級閉鎖等の全体周知)、■学校ができる健康管理対策の在り方(生徒が状況に応じ主体的に健康管理を行うことのできる能力の育成、状況を判断したマスク着用の促し、手洗いうがい、消毒の習慣化、各教室のインフラ整備(高性能加湿器等)の設置?等)、■学校健康管理対応等についての地域、ご家庭の理解の推進等を進めていきます。

20日(金)の新規出停は4件、体調不良による欠席は16名であった。

2024. 12. 5・6 1年生 はつらつ社会体験

「楽しかった2日間」だけではダメなんだ…
「働くこと、学ぶこと、生きること」を感じないと。
君たちは社会で生きるんだから…
地域の皆様に感謝。



■地域40の事業所等にご協力いただきました。本当にありがとうございます。
 ■体験後に、「私、〇〇になろうと思った」と口にした生徒が結構いました。
 ■このキャリア教育を2年・3年…日々の生活へとつなげていきます。

9日(月)の朝、多くの1年生が私のものに駆け寄り「本当に、本当に楽しかった!」「1週間くらいやってもいいのに…」「ますます子供が好きになった…」と、笑顔で話しかけてくる。5年振りに実施された「はつらつ社会体験学習(職場体験)」である。

日頃から発しているが、西中教育の究極の目的は「一人で社会を生き抜く力を身に付けること」。…であれば職場体験というのは、社会に疎い中学生にとって、生き抜かなくてはならない場で働くということを通して学ぶ大きな機会となる。とても大切な学びだと考えている。フィンランド等では実施が義務化され、小5で保護者の職場にて1週間のお手伝いをするところから始まり、中2で4週間の職場体験学習を行うこととなっている。また、数年前の小学校新任教員アンケートでは、教師を目指したきっかけの1位が中学時代の職場体験であった。最近では高・大でのインターシップも定着し、大学入試総合型選抜の課題となったりもする…。

西中の「はつらつ社会体験」の成果は…? ひとは生徒の様子や表情を見ていただければ感じていただけたと思う。働くことや社会人の方々のふれあいを通し、社会で生きることのおぼろげなシルエットをつかんでくれたのではと思っている。「楽しい」とか「充実した」とか等の表現はその裏付けだと思ふ。今後自らが進めていくキャリア・プランニングのスターターになったと感じている。

【ご協力いただいた体験先/感謝しかありません】

さて大事なことはこれから「楽しかった」「おもしろかった」だけでは、その成果の20%位にしか過ぎないだろう。「はつらつ」での学びを、3学期からの学習に、社会性のある落ち着いた日常生活に、自分の進路選択に…生かしていかなければただのイベントに終わってしまう。

本学習を実施するにあたり、地域の事業所等の皆様をはじめ、体験先をご紹介いただいた保護者の皆様等には大変お世話になりました。あらためて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

令和6年(2024)も残りわずかとなりました。2学期も地域、保護者の方々に支えられ進むことのできた西中でした。本当にありがとうございます。学期末に臨時休業校となつてしまひ、皆様方には大変ご心配をおかけして申し訳ございませんでした。結果オーライでは承知しつつも、大過なく今年も終えられそうなどについて、皆様のおかげさまと改めて感謝いたします。世間では子供が巻き込まれる悲惨な事故が多発しております。十分な注意をしていただき、ゆっくりとした年末・年始を送っていただければと思っています。本年も本当にお世話になりました。2025(巳年)も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。